



堀越 道男 議員

質問
市民参加による公共交通網形成の条例制定に向けて

答弁
他市の状況をみながら考えていきたい

堀越議員の質問動画



議員

地域公共交通網形成社会づくりについて、コミュニティバスの現状と計画しているルートについて伺う。

市長公室長

令和3年3月に策定した常総市地域公共交通計画で持続可能な公共交通網を構築することを検討している。運行ルートは、東西の交通軸として水海道、石下市街地から鬼怒川西部を結びイメージを掲げている。

議員

その計画ルートとコミュニティバスについて尋ねる。

常創戦略課長

計画ルートは水海道駅、石下駅を拠点とした鬼怒川西岸のルートを考えている。現在は計画段階であるため、コミュニティバスのルートは、今後の利便増進計画等で詳細に練っていききたい。

議員

公共交通づくりを自治体がやるべきを得なくなり、条例化した自治体がある。とくに福岡市の公共交通条例は、議会提案の地域社会

の再生を目指す内容となっている。交通権を日本国憲法の生存権（25条）、幸福追求権（13条）、住居移動の自由（22条）を基本にして

条例第3条に市民の権利、第7条に市民による政策の提案がうたわれ、市民参加に重点がおかれている。当市では、どのように市民参加や提案を受け入れる方針なのか。

市長公室長

市民が求めているニーズや利用など地域の実情を把握するために市民の連携・協働は重要であると考えている。各地域にも特色があるので、自治区長連絡協議会を中心に意見等を調べたい。

議員

条例化についてはどう考えているのか。

常創戦略課長

近隣市町村の状況をみながら考えていきたい。

【その他の質問】

★道の駅について

★特別障害者手当について



大澤 清 議員

質問
行政から発信される配布物は、正確かつ迅速でなければならない

答弁
市民の方々に配布する際は細心の注意を払っていく

大澤議員の質問動画



議員

市民に向けた配布物の中で、常総市防災ラジオ有償配布に伴う希望調査のお知らせについて、なぜ希望調査票の提出先が石下庁舎を含めず本庁舎だけなのかという声を市民の方、特に石下地区にお住まいの方々から不満やお叱りの声をいただいた。提出先が本庁舎のみになった理由を伺う。

市長公室長

ご指摘のとおり、受付場所を防災危機管理課のみとしており、市民の皆様にご不便とご迷惑をおかけし、深く反省をしています。

議員

防災ラジオ配布の開始時期と配布方法について伺う。

防災危機管理課長

7月当初から配布を開始し、平日は、本庁舎と石下庁舎の両庁舎を考えている。7月中は日曜開庁もあるので、そこも併せて両庁舎で配布を考えている。

議員

高齢者世帯など、どうしてもお金の払込みや各庁舎に足を運ぶことができない場合はどのように対

応するのか。

防災危機管理課長

個別にご相談をいただければ、防災危機管理課で対応させていただきます。

議員

新型コロナウイルス接種について、75歳以上を対象にした配布物の案内について、記載の保健センターや石下総合福祉センターで接種予約ができないのかと質問をいただいた。75歳以上の方々にとっては不親切ではないかと感じたが。

保健衛生部長

このチラシは、65歳以上の方を対象に作成した。75歳以上の高齢者については、接種後に副反応の症状が出た場合、すぐに処置ができる医療機関での接種が望ましいため、個別接種を勧めた。

議員

配布物は、市民が分かりやすく、理解できること、誤解されないことなど、読み手の気持ちとなつて作成していただきたい。

【その他の質問】

★家庭系ゴミについて